

化学基礎

単位数	2 単位	対象学年	1 学年	対象コース・クラス	全コース
使用教科書	東京書籍「新編化学基礎」	副教材等	レッツトライノート 化学基礎		

1. 学習の到達目標

日常生活や社会との関連を図りながら、物質とその変化について理解するとともに、科学的に探究するために基本的な技能を身に付ける。
 科学的に探究する力を養う。
 物質とその変化に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。

2. 到達目標に向けての具体的な取り組み

高等学校の化学では、中学校の理科に比べ数多くの物質名や化学式、公式、法則がでてきます。教科書をしっかり読んで重要ところを理解していきます。また、問題演習を繰り返して行うことで自分の苦手な分野を再認識して確実な理解を目指します。

3. 学習上のメッセージ

予習・復習をしっかりとすることで知識が定着していきます。教科書をしっかりと読んで重要語句を確実に理解し、整理することが大切です。日々の板書をノートに正確に記入し、定期試験前にはしっかり苦手な分野を復習しましょう。化学の問題は解くうえで基本的な計算能力が必要になってきます。中学校の数学が苦手だった人はしっかり練習をしておきましょう。理解するのが難しい問題は答えが公式をただ丸暗記するのではなく、積極的に質問をして理解を進めるように勤めましょう。

4. 評価の観点・方法（年間の評定）

評価は次の3つの観点から行う。

関心・意欲・態度	化学の特徴について理解しているとともに、科学的に探究するために必要な実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を理解している。
思考・判断・表現	化学の特徴について、問題を見だし見通しをもって、科学的に考察し表現しているなど、科学的に探究している。
観察・実験の技能	化学の特徴に関する事象・現象について主体的に関り、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている

評価は次のように行う。

①年5回の定期考査

②授業中の板書を写したノートやプリント、問題演習課題の提出

③広島桜が丘高等学校の生徒として規則に則った服装での学習活動の参加状況

1年間の評定は、定期テストを70%とし、残りの30%は授業に取り組む姿勢、提出物、学習態度、小テスト等を総合的に判断して評価する。

5. 学習内容と評価について

単元名	使用教科書項目	指導内容と評価のポイント
1編 化学と人間生活	1章 化学とは何か	化学と物質について、化学の特徴を理解するとともに、それらの観察・実験などに関する技能を身に付ける。 化学と物質について、問題を見いだし見通しをもって、科学的に考察し表現する。 化学の特徴に関する事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う
1編 化学と人間生活	2章 物質の成分と構成元素	化学と物質について、物質の分離・精製、単体と化合物、熱運動と物質の三態のことを理解するとともに、それらの観察に関する技能を身に付ける。 化学と物質について、問題を見いだし見通しをもって、科学的に考察し表現する。 物質の分離・精製、単体と化合物、熱運動と物質の三態に関する事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。
2編 物質の構成	1章 原子の構造と元素の周期表	物質の構成粒子について、原子の構造、電子配置と周期表のことを理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付ける。 ・物質の構成粒子について、観察・実験を通して探究し、原子の構造、電子配置と周期表について見出して表現する。 ・原子の構造、電子配置と周期表に関する事物・現象に主体的に関り、科学的に探究しようとする態度を養う。
1学期中間試験		
2編 物質の構成	2章 化学結合	物質と化学結合について、イオンとイオン結合、分子と共有結合、金属と金属結合のことを理解する。 物質と化学結合について、イオンとイオン結合、分子と共有結合、金属と金属結合について見出して表現する。 物質と化学結合に関する事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。
1学期期末試験		
3編 物質の変化 物質の構成	1章 物質と化学反応式	物質と化学反応式について理解する。 物質と化学反応式について探究し、物質と化学反応式を見出して表現する。 物質と化学反応式に関する事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。
2学期中間試験		
3編 物質の変化	2章 酸と塩基	化学反応について、酸・塩基と中和のことを理解する。 化学反応について、酸・塩基と中和を見出して表現する。 酸・塩基と中和に関する事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。
2学期期末試験		
3編 物質の変化	3章 酸化還元反応	化学反応について、酸化と還元のことを理解するとともに、それらの観察・実験などに関する技能を身に付ける。 化学反応について探究し、酸化と還元を見出して表現する。 酸化と還元に関する事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。
学年末試験		